

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 707

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	仲田 佳史
事業名	青少年活動事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	放課後子ども教室推進事業			政策体系	115
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 1.社会		

1. 事業の概要

心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むことを目的として、平成16年度から委託事業として実施してきた「放課後子ども教室推進事業」が3年間の事業年度を終え、19年度からは補助事業として実施している。
事業内容は、ものづくり、環境活動、共同作業、三世代交流等である。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

「放課後こどもプラン」の動向を踏まえながら、地域を中心とした体験や遊び・交流・まなびを通じて子どもたちに「生きる力」「豊かな心」を身に付けさせ、児童の健全な育成を図るため平成19年度から実施。土日を中心に自然体験や地域学習などを美山地区2ヶ所で教室を開設。

②事業を実施する必要性

地域社会の中で子どもたちの心豊かで健やかに育てる環境の向上を図るため、次のこと重点に実施。

- (1) 安心安全な子どもの居場所づくり
- (2) 地域や家庭における教育力の再生
- (3) 地域コミュニティの充実

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円		1,070	704	398	624	624	624
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円		0	0	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円		0	0	0	0	0	0
国・府支出金	千円		666	701	239	380	380	380
地方債	千円		0	0	0	0	0	0
一般財源	千円		404	3	159	244	244	244
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.22	0.20			
人件費	千円	—	—	1,594	1,176			
事業費総額	千円	—	—	2,298	1,573			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

講師謝礼	199,800円
教室事業消耗品（材料費）	198,186円

5. 事業結果の概要

美山町管内で開設
 ・宮島等教室（宮島小・大野小・鶴ヶ岡小管内）
 7回実施
 参加者数(延べ) 児童217名 指導者66名
 ・由良川教室（知井小・平屋小管内）
 10回実施
 参加者数(延べ) 児童204名 指導者119名

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 宮島教室		
○地域環境整備活動（6月6日）宮島小 ○いも苗植え（6月6日）鶴ヶ岡小 ○大野ダム花いっぱい運動（6月20日）大野ダム公園 ○土笛づくり（8月3日）美山かやぶき美術館 ○とうろう作り（8月18日）宮島小 ○虹の子カーニバル（11月28日）大野小 ○オモチャかぼちゃの絵付け（1月16日）鶴ヶ岡小	6月6日～1月16日	7回実施参加者(延べ) 児童 217名 指導者 66名
(2) 由良川教室		
○水仙をめでて俳句づくり（4月19日）平屋小 ○七夕・かかしづくり（6月28日）コミセン ○お泊り会（8月8日～9日）コミセン、農振センター ○野菜みこしをつくろう（9月26日）平屋小 ○親子料理教室（12月5日）知井小 ○世代間交流グラウンドゴルフ（12月12日）知井小 ○ひらや文化のつどい（1月30日）平屋小 ○雪とうろう（1月30日）知井小 ○とんど、スカットボール（2月7日）コミュニティセンター	4月19日～2月7日	9回(10日)実施参加者(延べ) 児童 204名 指導者 119名

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

- ・運営委員会を設置し、コーディネーターの配置や体験活動の実施について検討いただき、円滑な事業推進が図れた。
- ・美山地区各小学校区にある地域振興会等が中心となって、地域の子育て組織化が図られ、大きな効果を得られた。
- ・平成21年度は新型インフルエンザの流行により秋季の事業ができなくなった。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
運営委員会を設置し、コーディネーターの配置や体験活動の実施について検討している。
- ②当該事業のアピール事項
美山地区各小学校区にある地域振興会等が中心となって、地域の子育て組織化が図られ、大きな効果を得られている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
「放課後こどもプラン」の動向により事業展開が左右される可能性がある。